連携室だより
ろうさい

第20号
令和6年1月吉日
地域医療連携室

青森労災病院 理念　「やさしく、あたたかい病院」

・患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療を行います。
・医療の質の向上をめざします。
・勤労者医療・地域医療等における役割を推進します。

新年のご挨拶

院長　玉澤　直樹

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年中はいろいろとご協力・ご支援いただきまして心よりお礼申し上げます、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

現在の日本の医療情勢には、人口減少・少子高齢化により、団塊の世代が全員後期高齢者となる「2025年問題」、そして65歳以上の高齢者人口が全人口の約35%でピークを迎える「2040年問題」を抱えており、それに対して医療体制をどのように対応させていくのかが大きな課題です。これからは治すことが中心であった「従来型医療」から、治し支える「生活支援型医療」への転換が求められています。

地域医療構想会議において、2025年（令和7年）の八戸地域の必要病床数は、現時点と比べて急性期病床が464床の過剰、回復期病床が335床の不足とされています（令和5年度青森県（八戸地域）地域医療構想調整会議）。これを受けて八戸地域でも、各医療機関が具体的な方針の策定・見直しを行っています。

青森労災病院では、高度急性期（HCU）・急性期病床から回復期病床（地域包括ケア病棟）まで、切れ目の無い医療を提供するケアミックス型の病院として、この地域の医療に貢献して参ります。急性期治療を終えた患者さんは、通常すぐに退院する必要があります。しかし、中には在宅療養に不安がある等の理由で在宅復帰支援を必要とする方がいます。こうした方々が在宅療養までの間、医療や支援を受けることのできるのが地域包括ケア病棟です。また、すでに在宅療養を行っている患者さんの緊急入院の受け入れをする病棟（レスパイト入院）としても機能しています。その他にも、がん診療連携推進病院、地域医療支援病院、紹介受診重点医療機関、在宅療養後方支援病院としての役割を担って参ります。また、当院の特徴としての政策医療として勤労者のための「治療と仕事の両立支援」を推進していきます。

そのためには、当地域の基幹病院である八戸市立市民病院、八戸赤十字病院をはじめ、地域の各医療機関と連携し役割を果たしていくことがますます大切となります。あらためて、連携医療機関の方々のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

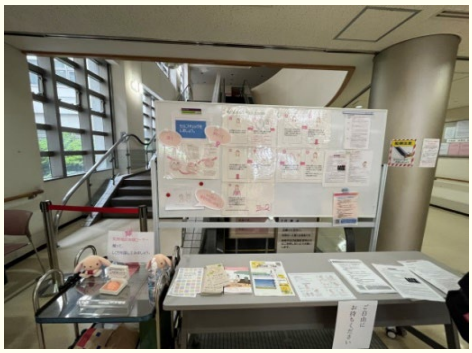
皆様にとりまして本年がより健やかで、充実した年となりますよう祈念致しまして、年頭のごあいさつといたします。

市民公開講座を開催しました

新型コロナ流行のため中止しておりました市民公開講座を今年度より再開しました。
今年度は下記のとおり２回開催しました。講演の他、講演に関連する資料ブースも設け、
ご来場の方に好評でした。今後も引き続き開催していく予定ですのでぜひお越しください。

第23回　市民公開講座

令和５年９月９日（土）
演目　：　「乳がんについて」
講師　：　青森労災病院　第３外科部長　兒玉 博之



第24回　市民公開講座

令和５年１１月１８日（土）
演目　：　「延ばそう健康寿命！～しっかり噛んで飲み込んで～」
講師　：　青森労災病院　歯科口腔外科医師　山崎　峻也
中央リハビリテーション部　言語聴覚士　戸賀沢　岳

薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）について
～歯科医師の立場から～

歯科口腔外科　山崎 峻也

「顎が腐ってしまうとわかっていたのなら、こんな薬は使ってなかったよ。」

最近、このように話される方が非常に増えてきたと感じます。薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）とは、BP製剤やデノスマブなど骨吸収抑制薬（ARA）の副作用によって、顎骨が腐ってしまう疾患ですが、その明確な原因は未だ明らかにされていません。2023年に初めてBP製剤による顎骨壊死が報告されてから各国でポジションペーパー（PP）が出され、日本でも2023年に最新のＰＰが発表されましたが、未だガイドラインと呼べるものはなく、保存的治療か外科的治療か、外科的治療を行うのなら、どのタイミングで、切除範囲はどうするかなどについては議論が尽きません。

超高齢社会の現在、ますます多くの人が骨粗鬆症に対して骨吸収抑制薬を使用することが予想され、今後もMRONJの患者は増加すると思われますが、それを防ぐためにはどうすればよいのでしょうか。MRONJのリスク因子の1つとして、虫歯や歯周病、それに伴う抜歯など、口腔内細菌が顎骨に到達し、感染を引き起こすことが良くないとされているため、MRONJを予防するためには、歯および歯肉を健康に保つことが重要だと考えられます。MRONJのリスクとなるARAの添付文章にも歯科検診および治療の重要性が記載されており、「本剤の投与開始前は口腔内の管理状態を確認し、必要に応じて、患者に対し適切な歯科検査を受け、侵襲的な歯科処置をできる限り済ませておくよう指導すること。」とあります。ARAの使用を検討している患者および、すでに使用している患者でも、歯科検診を受けたことがない方であれば、是非とも歯科への受診を勧めていただきたいと存じます。

注意していただきたいのが、すでに発症したMRONJを治療するための治療的休薬については必要であれば医歯薬連携のもと検討されるが、**MRONJを回避するための予防的休薬については推奨されていないことです。**これはMRONJのリスクを鑑みても、骨折や骨病変を抑えるベネフィットの方が大きいからです。

MRONJについては今後もその病態、治療法にアンテナを張りつつ、その時点でBestな治療を選択していくべきだと考えております。この様な症例がございましたら、一度当科へご相談ください。

青森労災病院　FAX・電話による診療予約のご案内

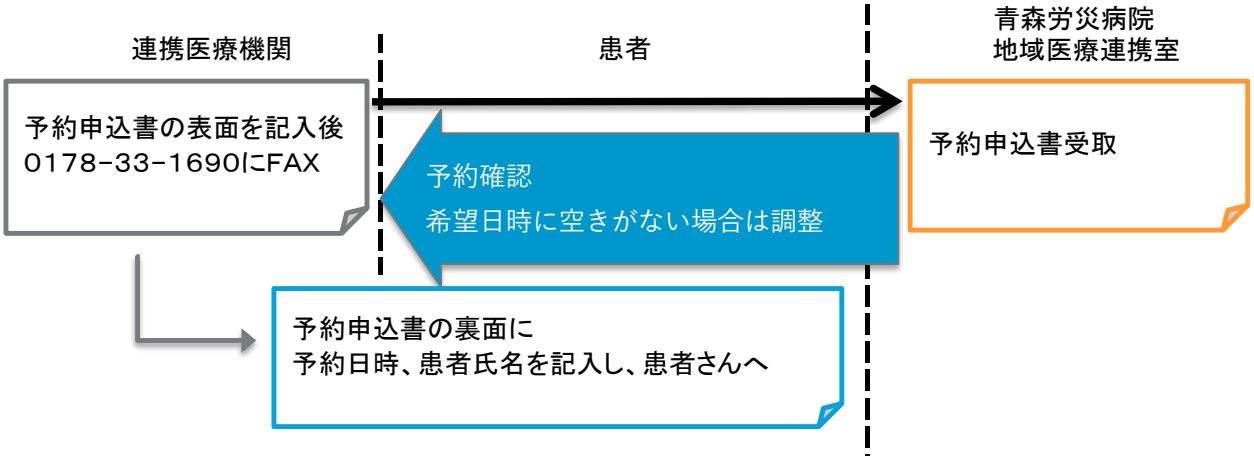
当院では、紹介患者さんの待ち時間短縮を目的に、FAX・電話による診療予約を実施しております。

【専用FAXによる予約方法】

予約受付時間：午前8：30～午後5：00（ただし、状況によって対応します。）
予約FAX番号：0178－33－1690　（地域医療連携室直通）
予約申込書：当院ホームページ〉〉各部門のご紹介〉〉地域医療連携室のページから
ダウンロード可能です。
郵送またはFAXでもお送りしますので、ご希望の際はご連絡ください。

※予約の申込につきましては、診療日前日までとなっております。
当日の予約については、お電話のみでの対応とさせて頂いております。

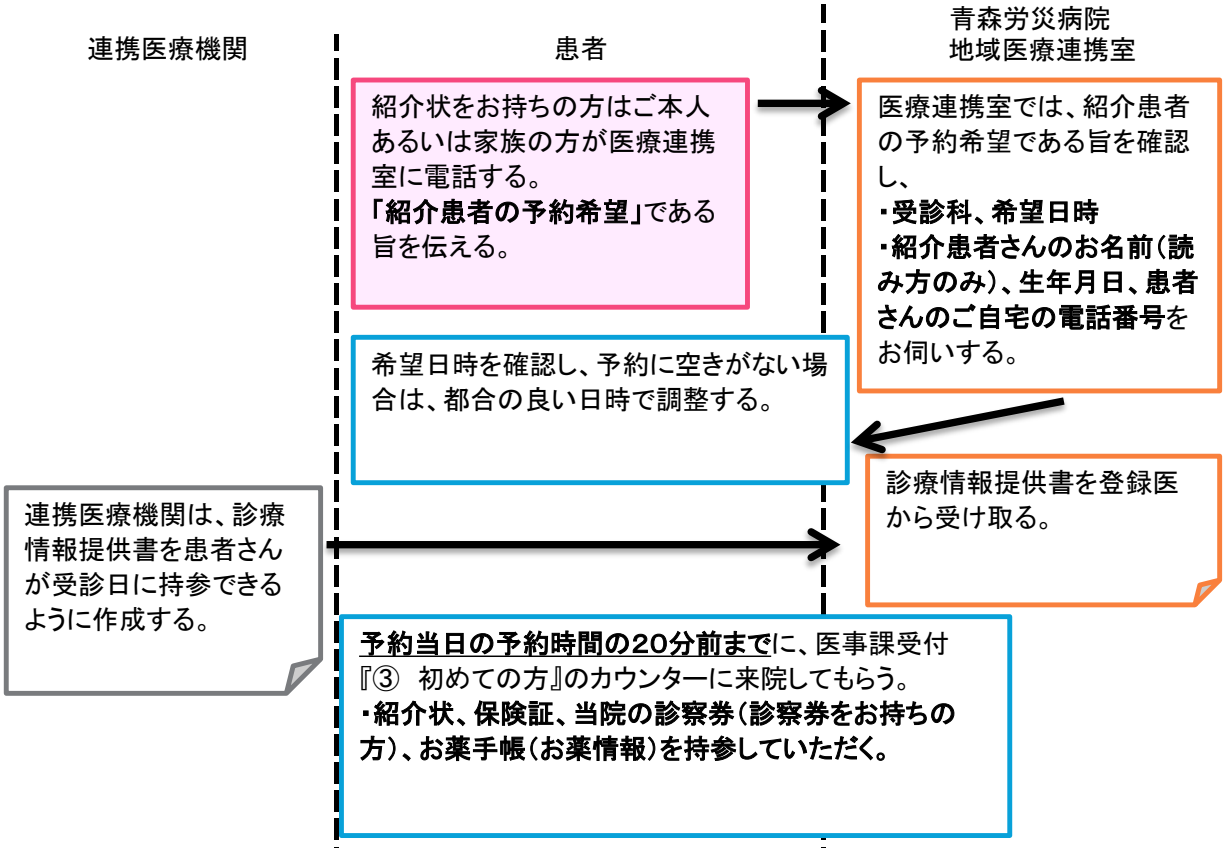
◇利用手順



【電話による予約方法】

予約受付時間：平日午前８：３０～午後５：００
予約電話番号：０１７８－３３－１５５１　内線２５１５

◇利用手順



※FAX予約では、事前にカルテ登録を行いますが、電話予約の場合、当日のカルテ登録となりますので若干お時間を頂きます。

青森労災病院　地域医療連携室宛　専用　ＦＡＸ　0178－33－1690　　令和　　年　　月　　日

予　約　申　込　書

（ふりがな） 患者氏名			性　別	旧　姓
	（姓）	（名）	男　・　女	
生年月日	明治･大正･昭和 平成･令和　　年　　月　　日　　歳			
住所	〒　　－　　電話番号　　－　　－			

受診希望日時	令和	年	月	日	曜日	時	分

受診希望科（○をつけてください）　医師の指定がある場合　医師名〔　　〕宛		
□ 呼吸器内科 ☆	□ 形成外科	□ 眼科
□ 消化器内科 ☆	□ 脳神経外科 ☆	□ 耳鼻咽喉科 ☆
□ 血液外来 ☆	□ 皮膚科	□ リハビリテーション科
□ 糖尿病･内分泌内科 ☆	□ 心臓血管外科 ☆	□ 健康診断部
□ 神経内科 ☆	□ 泌尿器科 ☆	□ 歯科口腔外科 ※☆
□ 外科 ☆	□ 放射線診断科 ※☆	
□ 整形外科 ☆	□ 放射線治療科 ※☆	

※の放射線診断科･放射線治療科･歯科口腔外科への予約は、直接診療科外来へ電話予約をお願いいたします。
☆の診療科につきましては、診療情報提供書も併せてお送りくださいますようお願いいたします。
（注）産婦人科は休診、循環器内科･神経科･麻酔科は、院内頼診のみとなっています。（令和5年4月現在）

主保険	保険者番号		区分	本　人　・　家　族
	記号･番号		資格取得日	
後期高齢者受給者証･公費医療	市町村･負担者番号		負担割合	割
	受給者番号		資格取得日	

↑保険証のコピー貼付でもかまいません

医療機関名	
所在地	
電話番号･FAX番号	
送信担当者名	

青森労災病院

患者様用

青森労災病院へ　診療予約をされた方へ

◎お名前

様

◎あなたの予約日時は

月　　日（　　）　　時　　分です

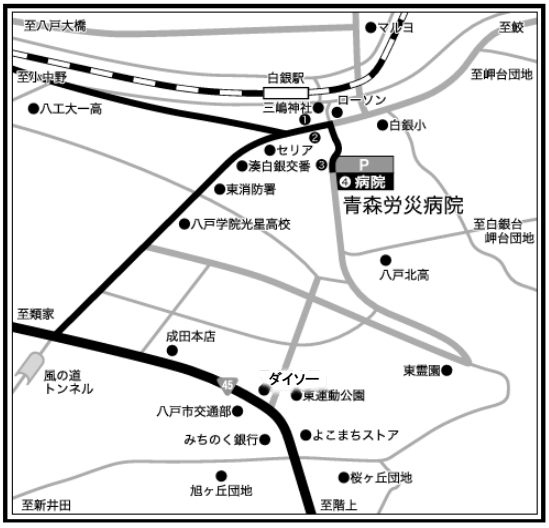
◎予約当日は

＊予約時間の２０分前までに、『③はじめての方』の窓口（正面玄関を入り左側）までお越し下さい。　※糖尿病・内分泌内科については１時間前におこしください。

＊診療上の都合により、多少時間がずれることもありますのでご了承下さい。

◎お持ちいただくもの

□紹介状（必ずお持ち下さい）
□保険証（公費医療の受給者証など）
□本状
□診察券（過去に青森労災病院に受診歴がある方）
□お薬手帳（または、お薬の内容が記載されている用紙）



交通ご案内

◆八戸自動車道八戸 IC より約８㎞

◆八戸久慈自動車道八戸南 IC より約６㎞

◆JR 八戸線白銀駅より約700ｍ

◆市営バス「労災病院通」バス停
鮫方面　❶
市庁方面　❷
より徒歩５分

◆市営バス「労災病院前」バス停
市庁方面　❸
岬台団地方面　❹
より徒歩１分

◎お問い合わせ先

青森労災病院　　地域医療連携室
ＴＥＬ　０１７８－３３－１５５１　内線２５１５